

平成25年度香川大学入学式 学長告辞

香川大学構内の桜も満開となり、木々や草花の新芽も天に向かってすくすく育ち、まさに希望に胸が膨らむ春の訪れです。

本日、1,318名の新入生の皆さんを迎え、入学式を挙行できることは、香川大学教職員の大きな喜びであります。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、ご臨席のご家族や関係の皆様方にも、心からお喜びを申し上げます。

本学役員・教職員一同、皆さんの入学を祝し、今後の活躍を期待しております。

ここで、私から新入生の皆さんに望むことを述べたいと思います。

皆さんは、大学で何を学ぼうとしているのか。

映画“男はつらいよ”の中で、実に示唆に富む会話があります。渥美清演ずるフーテンの寅さんが、甥の満夫に聞く。

“お前は大学に行こうとしている。何をするために大学に行くのか？”

満夫は答えられない。寅さんは諭す。

“あのなあ、道が二股に分かれていて、どちらが正しい道かわからない、そんな時自分の頭で考えて、こちらに行くべき、と自分で決められるように、大学で学ぶのだ”

寅さんは自分で意思決定ができ、人生の方向付けが出来る人間になることの大切さを知っていました。

しかし、実際に人生設計や進路を決めることはとても難しいことだと思います。

そのためには多くの人と関わり、社会経験を積み、幅広い教養と専門知識を学修して、常に自分自身を磨かないと出来ないことなのです。

建築家の安藤忠雄氏は“端的に言えば、センター試験は左脳の知識についてその優劣を測るというものだ。しかし、人間にはもう一つ重要な要素として右脳の機能がある。右脳は創造力、闘争心をつかさどる。自立した人間にとって大事な要素だし、闘争心を保つには勇気も必要だ。左脳と右脳があってはじめて人間なのだ。”

また“知識と創造性を備えた自立した若者でなければ実社会ではほとんど使いものにならない”と述べています。

香川大学では、本年度より左右の脳を鍛え、若い鋭い感性をさらに磨く為に、今までになかった新しい学修の機会を提供することにしました。その意味では、皆さんはこれまでにないチャンスを与えられた幸運な新入生なのです。

詳細はパンフレットや新入生ガイダンスで説明されますので、ここでは簡単に触れます。

まず、アドバンスト・セミナーは、全学部学生対象に、課外時限や土、日曜日に開講し、各界の著名人や全学のトップレベルの教員を講師にお招きし、教育・研究の最先端に触れ、学生の皆さんと討論形式で進行す

るものです。最新の知識に触れたい若者のためのセミナーです。

次に、香川大学ネクスト・プログラムですが、これも全学部学生に対して開講し、アメリカや中国に一年間留学して、国際的素養を身につけるグローバル人材養成コース、NPO 法人の防災士資格を取得するコース、文学作品を熟読する人間探求コースなどが今年度からスタートします。

学修することで自分を鍛えあげたいと考えている皆さんの要望に応えられると確信しています。来年度以降も、更なる人間力アップとなる特別コースを考えています。

また、先般開幕した瀬戸内国際芸術祭 2013 にも大学を挙げて参加し、ある一定時間以上の活動をした学生には、単位を認定します。週末や空き時間を利用して、瀬戸内海の島々に渡り、香川の地で学修することを実感すると共に、島民の方々との交流や芸術祭イベントに参加し、多くの体験を通して皆さんの心の中に潜在する能動的な力を鍛えて下さい。

皆さんが香川大学で過ごす 4 年あるいは 6 年は、最も自由で自己を形成するチャンスであり、学生が時間のオーナーです。この貴重な時間をどの様に使うか、皆さんの覚悟と決意、それにどの様な人になりたいかの真剣度にかかっています。大学生である時間を如何に 有効に使うかによって、卒業時には人間としての背骨の太さが決まると思います。

皆さんはこれから、講義、実習、フィールドワーク、サークル活動、ボランティア、時にはアルバイトなど、あらゆる学びと人間関係を作る機

会があります。それらを自身の血とし、肉として、時には肩で息するくらい学修し、寅さんの言う“自分の頭で正しい道を選ぶ”ことの出来る人材に育ってくれることを期待しています。

最後に、私は人間にとって最も備えたい心は、“優しさ”、“温かさ”だと思います。古来、我が国は“大和”と言われていますが、これは大いに和する、あるいは“和・・・やわらぎ”と読めます。

皆さんは種々な理由で困っている人、立場の弱い人に対して、心優しく、温かく接することのできる人になって欲しいと思います。それが困難の多い現代社会において、お互いに楽しく幸せに生きるエッセンスになると思うのです。

皆さんは、本日より香川大学の一員となります。交通ルールなどを始め、社会規範を遵守し、地域の方々から信頼されるように努めて下さい。そして、明日への希望を大きく膨らませて、伝統ある香川大学の学生としての誇りと自信を持って活躍するよう心から祈念して告辞といたします。

平成25年4月4日

香川大学長 長尾 省吾